

自由俳句

おおくさ編集室選

合格したよと弾んだ電話の声に安堵の涙する 茶屋 長谷川由美子
 種物買いに店先見れば花鉢並んで春を先取り 茶屋 岸本 治枝
 春の光がそつと窓を開け深呼吸 茶屋 木山 輝子
 裾上げて整えたカーテンが新しく匂う 茶屋 藤原 寿郎
 雪に耐えたかぶらの味噌汁が甘い 茶屋 木山 操子
 雪解けにぼつかりと春一番は福寿草 茶屋 小林 道子
 朝のリンゴさくさく鶯の初音待つ 生山 渡辺 圭子
 無常な現実続きコロナの終りを願う 神戸上 柴田 篤子

俳句

駄句駄句会編集室

びら尽きて 歩む二人も のどかなり 萩原 岡本 健三
 水温み 鳥が番する 河川敷 萩原 金谷 松代
 寝起きとて 笑わぬ稚児 うららかや 宮内 田辺登志美
 美容院 春の陽差に さそわれて 神戸上 笹間 玲子
 春先に 一層映える 伯耆富士 宮内 木村萬佐子
 山並の 風和やかに 春浅し 宮内 船越 裕子
 本年は 雪少なくて 散歩よし 細屋 三上 通子
 しだれ梅 空の青さに 遠慮して 下石見 矢田貝 元
 振ってみる 思い詰まった 上鈴雛 矢戸 和田 淑子

短歌

丑の年ゆったり通があるならば
 ウツシイシイと牛歩戦術
 雉子来る庭の珍客そそくさと
 餌を番ばむ凜しき姿

下石見 浅川 三郎

早咲きの桜花眺めり広小路
 ノルデックウオーク花見の如し
 苗植う霜降るらしと戦きて
 初体験の寒冷紗掛けやり

上石見 福田 輝之

遥かなる四千年の彼方から

山を煙らす黄砂漂う

生きる道喜怒哀楽の道中も

柳に風と無苦集滅道

湯河 山田 司郎



の動き (敬称略)

ご誕生おめでとうございます

氏名	届出人	住所
生田 咲良	洋平	霞

お悔やみ申し上げます

氏名	年齢	住所
名和川 勝	87歳	印 賀
影 山 猛	85歳	茶 屋
古 都 延子	94歳	茶 屋
加 藤 茅子	92歳	生 山
佐 伯 志米子	96歳	神戸上
松 浦 珠 喜	65歳	神 福
岸 郁 男	86歳	下阿毘縁
山 本 八代江	88歳	菅 沢
松 本 陽 子	86歳	丸 山

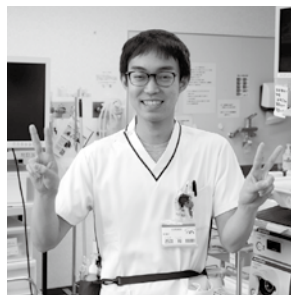
(令和3年3月16日～令和3年4月15日受付分)

■世帯 1,978 (+ 4) ■人口 4,350 (- 11)

■男 2,058 (- 4) ■女 2,292 (- 7)

法令の改正により、外国人を含めた世帯数と人口を掲載しています。 令和3年3月末日現在

5月号 オフショット集



看護師の西田さん

家では田んぼ作りに
 挑戦されているそうです。



にちなん中国山地林業アカデミー入学式
 皆さんの熱意を感じました！



オオサンショウウオの人口巢穴
 これからの成長が楽しみです！

